

**DH SYSTEM**

大日本塗料株式会社

商品番号 4 1 1 2

SCCシャット常温用

1. 一般名 ステンレス応力腐食割れ対策用塗布剤（使用温度範囲：80℃未満）
2. 規格 社内規格
3. 特徴
- 1) ステンレス応力腐食割れを防止できる。
 - 2) 防食性にすぐれている。
 - 3) 耐久性にすぐれている。

4. 塗料性状

項目	内 容			
容姿	2液性			
荷姿	2.4kgセット（A液：2.0kg、B液：0.4kg） 6.0kgセット（A液：5.0kg、B液：1.0kg）			
色相	乳褐色			
光沢	—			
密度 (23℃)	塗料	1.08		
	揮発分	0.87		
加熱残分	55%			
乾燥時間	温度	5℃	20℃	30℃
	指触	2時間	1.5時間	1時間
	半硬化	5時間	3時間	2時間
標準膜厚	25μm			
引火点	SDS参照			
発火点	SDS参照			
爆発限界(下限~上限)	SDS参照			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

5. 塗装基準

項目	内 容			
下地処理	新設の場合：#80ペーパー研磨/脱脂			
調合法	A液：10部、B液：2部（重量比）			
可使用時間	5℃	20℃	30℃	
	9時間	5時間	3時間	
洗浄シンナー	ウレタンシンナー			
塗 装 法	塗布方法	刷毛、ローラー塗り	エアレス塗装	
	希釈率	—		
	標準使用量	0.10 kg/m ²	0.13 kg/m ²	
	標準膜厚	25μm	25μm	
	ウェット管理膜厚	75μm	75μm	
エアレス塗装条件	1次圧 0.4~0.5MPa (4~5 kg/cm ²)			
	2次圧 11~15MPa (110~150 kg/cm ²)			
	チップNo.163-515-617			
塗装間隔	温度	5℃	20℃	30℃
	最小	5時間	3時間	2時間
	最大	3日	3日	3日

注) 既設の場合の下地処理は別途打ち合わせを要する。

6. 施工上の注意

- (1) 被塗面の塩分、油脂、湿気、塵埃、水分その他の有害な付着物は完全に除去する。
- (2) 使用時には、A液とB液を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な状態にしてから塗布すること。
- (3) A液とB液を混合した後は、可使用時間以内に使い尽くすこと。
- (4) 塗装間隔が長くなると密着不良を生ずることがあるので必ず規定時間以内で塗り重ねを終了すること。尚、規定時間以上経過した場合は、塗布表面をサンドペーパー或いはパワーブラシ等にて研磨し、さらにウエスで拭いて調整してから再塗布すること。
- (5) 塗布作業終了後は塗布器具を直ちに洗浄すること。洗浄には必ずウレタンシンナーを使用すること。
- (6) 塗布後短時間以内に雨に当たると塗面が白変する恐れがあるので注意のこと。
- (7) 高湿度（85%RH以上）の時の塗布作業は避けて下さい。可使用時間が短くなったり、塗布面が発泡することがある。

7. 関連法則

	A 液	B 液
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第3種有機溶剤含有物	第3種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

8. 使用上の注意 [警告]

- (1) 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。